

建設防災 ボランティアニュース 第75号

目次

- ・ 建設局初動対応訓練
- ・ 建設局長による感謝の会
- ・ 勝鬨橋ミニツアーの再開
- ・ 道路施設等点検

建設局初動対応訓練

建設局初動対応訓練が1月31日(金)に実施されました。今回の目的は、「建設局職員の災害発生時における対応能力向上を図る」「震災対策の手引きの改訂内容を踏まえて実施する」でした。局からの協力依頼に基づき、各班から77名の会員が参加しました。

事務所	参加者	事務所	参加者
一建班	8名	西建班	7(4)名
二建班	5名	南東建班	8(4)名
三建班	4名	南西建班	9(2)名
四建班	10名	北南建班	4名
五建班	3名	北北建班	5名
六建班	7名	東部公園班	4(1)名
		西部公園班	3名
合 計	77(11)名		

()内：参集訓練参加者内書

訓練は「東京湾北部を震源とする大規模地震(マグニチュード7.3、震度6弱以上)が、訓練当日の午前7時00分に発生し、都内で広域的な被害が発生している」との想定で行われ、今回のポイントは「訓練内容の簡素化」、「事務局の事前準備を最小限にし、実践的な訓練にする」、「情報集約や連絡方法の確実性を高める」の3点でした。

天候にも恵まれ、会員も事務所の指示に基づき様々な部署で実践的な訓練を体験できました。事務所との調整、会員への連絡等にご尽力頂いたリーダー、参加された会員、そしてご指導頂いた各事務所の皆様に心より感謝いたします。

担当理事 久保田元久

仮庁舎でも万全の体制・・・六建班

第六建設事務所は現在北千住庁舎が改築工事のため、西新井から徒歩10分の都有地に仮住まいの最中であり、北千住と比較し通勤には不便となっている状況です。今回の初動訓練はこの仮庁舎での初訓練で、吉野所長にとっても初の訓練でもありました。にもかかわらず、本部立ち上げ時刻は全事務所中早いほうから3番目だったと聞いており、さすがでした。六建はいつにもまして入念な準備をされたようです。



防災ボランティア参加者は7人で、そのほとんどが埼玉、千葉、茨城に住んでおり、15km～30km以上のメンバーもいます。平均年齢は概ね70歳です。ボランティアの参集状況ですが、9時頃には参加者7名が無事到着しました。

六建は毎回ボランティアを色々な班に振り分けてくれます。今回は、作戦班総務担当に初参加の熊本さん、作戦班道路担当に遠藤さん、作戦班河川担当に長島、支援班に横井さん、応急対策班現場点検担当に増澤さん、浅田さん、渡辺さんの計7名です。熊本さんは六建の庶務課長経験者でもあり、初参加でありながら当時を思い出しながら、活き活き活動していました。



また、支援班の横井さんは現役の女性職員の指示を受けながら、アルファ米にお湯を注ぐなど甲斐甲斐しく働いていた姿が印象的でした。



訓練前半は他の事務所からの参集者が班のリーダーを勤め、仮事務所であり、多少の戸惑いがあったものの、すぐに慣れ9時頃からは順調に進みました。後半に入って各班の班長さんが六建の管理職に代わり、より活気あるよい訓練になったと思います。



最後に所長から、三浦局長の訓示を丁寧に参加者に伝達するとともに、慰労の挨拶で締めくくられました。終了後、所長、庶務課長を囲んでアルファ米とみそ汁の反省会兼昼食会で今年も無事終了しました。



上段左から横井、渡辺、浅田、遠藤、古橋庶務課長
下段左から増澤、長島、吉野所長、熊本の各氏



六建班 長島修一

「繰り返しが大事！！」・・・東部公園班

本年度は、鈴木進、佐藤清美、高田賢一、上杉俊和の4名が参加しました。7時30分からの参集に佐藤、10時15分からの参集に鈴木、高田、上杉が参加し、応急対策班の一員として上野公園内3箇所の「被害想定箇所」の点検を行いました。

清水観音堂付近の斜面崩壊、東京都美術館前トイレの漏水、竹の台広場レストラン付近の樹木倒木等、各班がそれぞれの箇所の状況把握、対策等の点検を行い、事務所本部に MCA 無線で報告を行いました。

11時には事務所に戻り、応急対策班リーダーが本部長に状況報告、訓練終了となりました。11時30分から大道本部長により、「上手くいかないこともあるが、繰り返しの訓練が重要である」との講評等を踏まえた挨拶があり、恒例の非常食の試食をして解散となりました。



東部公園班 上杉俊和

「チーム一丸」・・・南東建班

1月31日、朝から快晴の中、南東建の初動対応訓練は48名〔澤井所長はじめ41名。防災ボランティア7名（以下敬称略。参集訓練組：原田、杉本、矢内、柴田。通常参加組：織田、丸岡、佐々木）〕が参加し実施されました。訓練は参集訓練組が概ね8時30分頃参集し、直ちに諸準備を進め大坪本部長のもと、作戦班（道路、河川、総務の各担当）、支援班、応急対策班（A、B、C の各班）等を立ち上げました。

午前9時頃、まず河川班（廣瀬班長ほか2名。ボランティアは原田）に対して、境川において護岸損壊の一報が入り、応急対策班 A 班（職員2名、ボランティアは杉本）が出動命令を受けて現地に向かい、到着した同班から、レスナビや MCA 無線により被害状況報告がありました（今年初めて河川でもレスナビ使用した）。次いで、9時25分頃、

主47町田街道において電柱倒壊の一報が道路班（原田謙治班長ほか2名、ボランティアは柴田）に入り、応急対策班 B 班（職員2名、ボランティアは矢内）が出動命令を受け出動しました。現地到着後、同班より被害状況報告があり、応急復旧の指示監督をするよう所本部より指示されました。次いで、道路対策班長は応急対策班 C 班（職員3名）に自主点検実施の指示があり現場に向かい、9時45分頃、現地に着いた同班より MCA 無線がうまく作動しないため、携帯電話により被害状況報告がありました。10時頃、大栗川で護岸沿いの電柱倒壊の一報が河川班に入り、河川班長は状況把握後、局本部あて FAX で報告しました。

次いで、10時15分になり、参集訓練組から通常参加組にメンバー交代、引継ぎが行われました。

10時30分頃、主47町田街道で沿道建築物の倒壊、放置車両あり、との一報が道路班（荒井班長ほか職員1名、ボランティアは柴田）にあり、応急対策班 D 班（職員2名）が現地に向かい、現地到着後、同班よりレスナビにより被害状況が報告されました。ほぼ同時刻に河川班（吉野班長ほか2名、ボランティアは織田、原田）には芹が谷公園において、斜面が一部崩壊したとの一報があり、応急対策班 E 班（職員2名、ボランティアは杉本）が出動指示を受け、現場到着後同班より MCA 無線等により被害状況が報告されました。

こうした訓練が続く中、作戦班総務担当（参集訓練組は職員3名。通常参加組は田口班長ほか2名、ボランティアは丸岡、矢内）は、局本部との連絡調整や WEB 会議等の事務に、支援班（参集訓練組は職員3名。通常参加組は石内班長ほか2名、ボランティアは佐々木）は、炊き出し等によりしっかりと取り組んでいました。併せて事務局（下鳥、相場ほか2名）による検証が、開始から終了まで実施され、真に南東建チームが一丸となり、円滑な訓練遂行に努めていました。

11時30頃、三浦局長から局訓練の全体講評があり、これを踏まえて澤井所長から所訓練の講評がありました。11時55分、局からの訓練終了の

連絡後本日の訓練が終了しました。終了後、所幹部の皆様とボランティア全員とで記念撮影し、帰路につきました。帰路の途中、いつもの場所で充実した昼食懇親会を行い、全日程が終了しました。ご参加いただいた皆様、大変、お疲れ様でした。



南東建班 柴田賢次



ど各所において甚大な被害を受け、現在、全力で復旧事業を推進しています。そのような中で行われた初動対応訓練にボランティア協会として参加し、少しでもお役に立ててよかったです。

参加された西建班メンバーの皆さま、お疲れさまでした。

西建班 東野寛

満 80 歳も活躍 …西建班

西建班からは、河合文久、小山弘光、佐藤鉄、清水六朗、田中久雄、谷村秀樹の各氏及び東野寛の 7 名が参加しました。

今回は、参加者のうち4名が事務所から4km 圏内の徒歩参集者となり、日ごろから鍛え抜いた健脚を披露する機会となりました。

また、参加7名のうち、1名が道路作戦班、2名が河川作戦班に所属し、かつて西建で勤務した経験と土地勘を駆使して訓練中枢機能の一端を担いました。さらに4名は応急対策班に所属し、想定被害連絡を受け、速やかに河川、道路の被害個所に赴き、現場点検と防災無線による被害状況の報告を行いました。今回の訓練に参加した最高齢会員は満 80 歳でいらっしゃいましたが、若い現役職員の方々とともに自転車で現場点検に参加し、広大な西建エリアをものともせず活躍をされました。

11 時 50 分の終了宣言、齋藤俊之西多摩建設事務所長兼訓練本部長からの訓練に対する講評挨拶の後、所長室で短時間ではありましたが和やかに、炊き出しの昼食とお茶をいただきました。

西建は、今年の台風 19 号で日原街道や秋川な

・・・各班の活動報告写真・・・

二建班



北建班



一建班



四建班



五建班



南西建班



北南建班



西部公園班



会員の経験と知見は局の財産！

・建設局長による感謝の会・

令和2年1月17日(金)午後6時から都庁第二庁舎4階において、会員70名と建設局幹部の皆様27名、計97名の出席のもと、「建設局長による感謝の会」が開かれました。

会は萩原総務課長の司会で始まり、まず三浦



局長がボランティア協会の日頃の活動について感謝を述べられるとともに、事業認可から15年の歳月をかけて交通開放した放射第5号線をはじめ様々な事業についてご紹介いただきました。さらに「職種、職層を問わず、これまで培われた協会員の経験や知見は局にとっても貴重な財産であり、今後とも様々な形で事業への協力を賜りたい」とのご挨拶をいただきました。

続いて新井副会長から、感謝の会の開催に協会としても心より感謝するとのお礼を述べ、橋と土木展への初参加など、協会の今年度の活動を紹介しました。また協会の課題として、退職者の多くが再任用となることなどによる会員数の減少と高齢化があり、今後局と連携を取りながら解決に向けて努力したいとの挨拶がありました。



今村次長のご発声による乾杯の後、恒例となった差し入れの日本酒の紹介とともに懇談に入りました。お酒が進むにつれ談笑の輪が増え、会場は大いに盛り上がりました。



楽しい時間もあっという間に過ぎ、杉崎総務部長から「皆様のエネルギーの高さと熱い思いに圧倒され、元気の素を沢山いただきました」とのご挨拶を頂き、盛大な 3 本締めでお開きとなりました。多くの会員にご参加いただき誠にありがとうございました。

担当理事 林幹生

「子」年生まれの参加者を代表して、丹野新理事に自己紹介を兼ねて感想をお願いしました。

新理事 1 年生

入会 3 年目の令和元年、節目の年に理事(会計担当)に就任、「名のみ・・・声も立てず」で半年が過ぎベテランの萩原理事からのバトンタッチが10月8日でした。

実質的にはまだ3か月半の1月17日、「建設局長による感謝の会」が開催され仕事は、受付・会費集めでした。18 時開会に先立つ1時間半も前に会場入りしました。本会員の皆さんは、この会が待ち遠しく相当早くから来場するとの情報もあり、粗相のないようにとの思いでの行動でした。

会が始まってからも受付を死守して三浦局長、新井副会長の挨拶を背中から拝聴し、70人分の参加費21万円を主催者へ手渡しほっとしたところへ局長が受付まで足を運んでくれました。杉浦前会長を交えてつかの間の談笑と相成りました。その後、局幹部数人と話す機会を得て、間もなく中締めとなった次第です。

閑話休題、今年は年男ですが72歳になるとの実感が湧いてきません。誕生日前(6月生)ということもあるかもしれませんが電車で席を譲られることもなく自らは暦年齢より若いと思い込み終活はさておきボランティア、旅行、ゴルフなどに明け暮れています。

ボランティアは本協会のほか、森林インストラクターとして主に高尾山をフィールドに自然観察や清掃登山などを行っています。

この1年、家族や仲間との旅行ではウルルカタジュタ・ブルーマウンテンズなどの国立公園、利尻礼文サロベツ国立公園(利尻山登山な



ど)、伊勢志摩鳥羽、広島三段峡、四国巡り、伊豆半島などを訪ねることができました。

月1回のペースで緑の中で新鮮な空気を吸いながらの18ホールは心身ともにリフレッシュし元気の源となっています。建設同友会では散策部会とゴルフ部会に入れてもらい、ゴルフ歴4年経過しましたが一向に上達せずまだ100を切ったことはありません。

子年生まれの方は『明るく社交的、まじめで几帳面、我慢・辛抱強い、穏やか、好き嫌いがある、人に対してははっきりものを言えない。』といわれるようで、自分でも当てはまる？と思っています。

一方、今年の干支、庚子は終わりの始まり、分岐点は2月から3月、はびこる意味もあるそうですが、新型コロナウイルスは早く終わってほしいものです。

この原稿は正に決算・予算作業の合間に書いているところ故、とりとめのない記述、ご容赦お願い申し上げます。

西部公園班 丹野修

勝岡橋ミニツアー再開!!!

5月14日(木) から始めます

平成 30 年 4 月 26 日から始まった隅田川著名橋等ツアーが令和 2 年 1 月 23 日の案内をもって終了しました。新型コロナウイルスの影響により、最後に予定していた2月27日の開催が中止となり、いささか残念な思いが残ります。

この間、ツアー開催18回、お客様277人、案内

ボランティア延べ157人、平均応募倍率4.6倍で、アンケートでも非常に好評でした。当初から期間限定の活動でしたが、終了を惜しむ声も多数ある中無事終了し、ご協力頂いた皆様方に心より感謝申し上げます。



そして5月14日(木)からは勝鬨橋ミニツアーが再開されます。これに先立ち、来る4月21日(火)と28日(火)の2日間、塗装が完了した橋脚内部の視察と、新しい案内ツールであるメットフォンの試用を兼ねて内覧会を開催します。案内の方々には既にご案内しましたが、これから案内に加わりたい方がいらっしゃいましたら、ぜひ担当理事までご連絡ください。

担当理事 林幹生

後期道路施設等点検

今年の後期「道路の施設とバリアフリー点検」は、10月に関東を直撃した台風19号の被害への対応により開始時期が11月25日と遅くなり、終了時期も事務所への負担を考慮して3月13日までに延伸されました。

異例の長期間の点検となり、また規模が縮小される事務所もあったことから、昨年より減少しましたが、会員50名が参加し無事終了しました。私たちの経験や知識を活かし、最近の道路行政の動向にも触れられる貴重な機会ですので、今後とも多くの会員の参加をお願いします。

事務所	実施日	参加協会員
一 建	1/14～2/7	3 名
二 建	1/14～2/4	4 名
三 建	12/16	2 名
四 建	1/14～1/20	3 名
五 建	12/9、12/16	3 名
六 建	2/4	3 名
西 建	2/21	7 名

南東建	12/3	10 名
南西建	2/5	8 名
北南建	12/20・2/5	3 名
北北建	2/17	4 名
計	1/14～2/17	50 名

担当理事 久保田元久

訂正とお詫び

前号の記事中、北北建班意見交換会の報告者は野崎元さんでした。お詫びするとともに訂正させていただきます。

協会からのお知らせ

- ① 来年度の総会が5月13日(水)に、リーダー会は5月19日(火)に開催されます。ぜひご出席ください。
- ② 各班の活動報告をお待ちしています。下記編集担当理事又は林まで連絡願います。
林アドレス(mikio.hayashi@okumuragumi.jp)
- ③ 協会のH. P(東京都建設防災ボランティア協会掲示板)には、最新の情報、ニュースのバックナンバー、建設局報などが載っています。
アドレス(<http://tokyo-adv.info/>)

編集後記

新型コロナウイルスのおかげで、何もかも自粛の年度末。協会活動も一部影響を受けました。来年度のボランティア協会の活動に影響がないことを祈るばかりです。本年度ご協力頂いた皆様に心より感謝します。

発行人 山口 明

発行 東京都建設防災ボランティア協会

新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 佐野正生、高橋紀男、林幹生、

堀内康彦、丸岡敏夫

